

セカンドライフの総合プロデュース

平成18年10月期決算説明会

平成18年12月21日(木) 東京



セカンドライフの総合プロデュース
日本ロングライフ株式会社

4355 大証ヘラクレス

<http://www.j-longlife.co.jp/>

平成18年10月期 決算ハイライト

取締役執行役員 未来経営戦略本部長

瀧村 明泰

関西圏での売上はほぼ計画通りであったが、首都圏、特に葛西の入居計画が大きく下回ったために、全体において売上・利益ともに計画達成ができなかった。



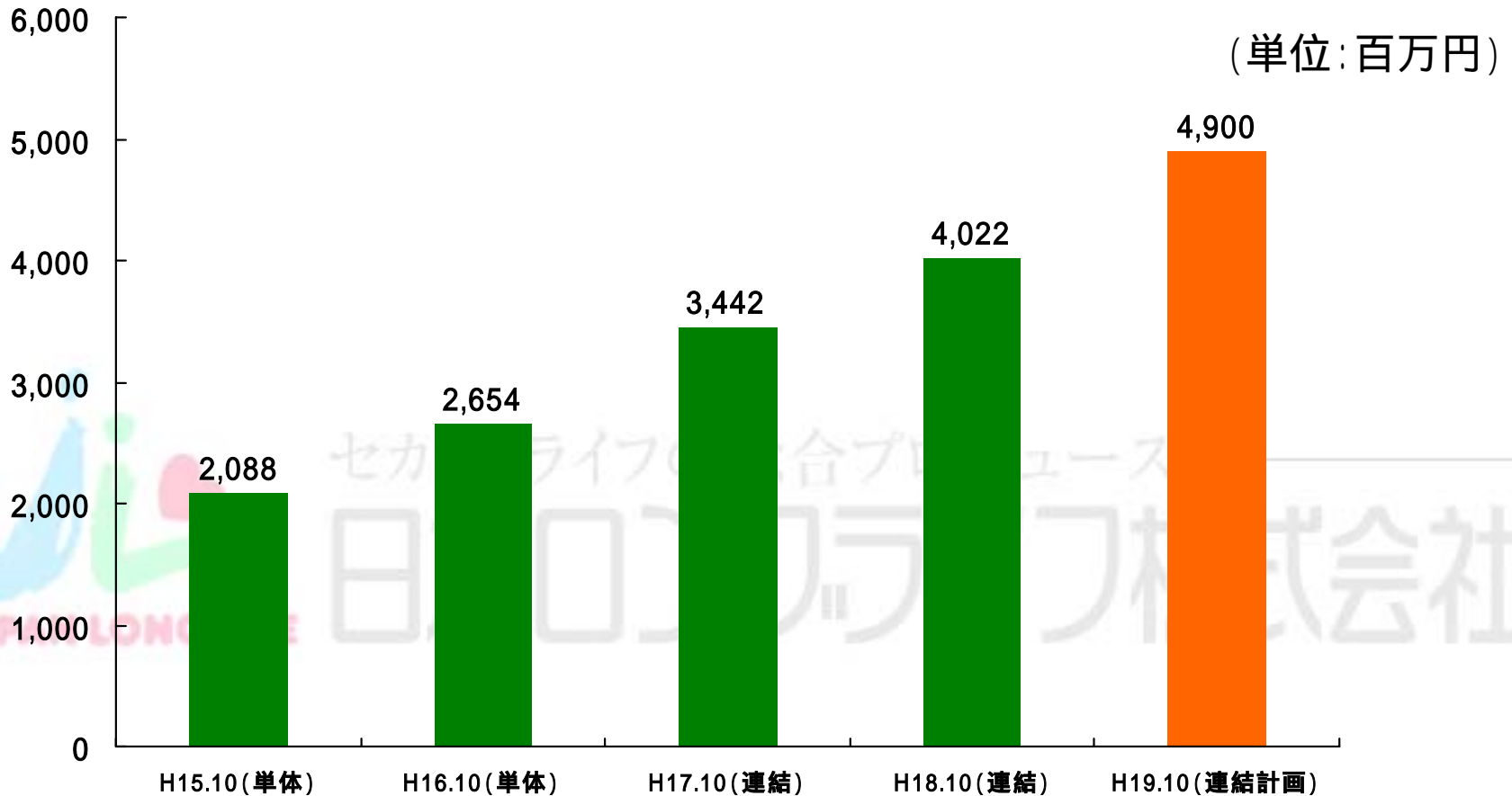
首都圏戦略強化へ

- 今後新規ホーム等を、葛西の例を踏まえ、介護専用型から混合型に力を入れる 葛西も混合型へ移行中
- 介護保険依存度が低いため、法改正の影響は軽微
- 子会社エルケアサポートでの人材派遣事業順調

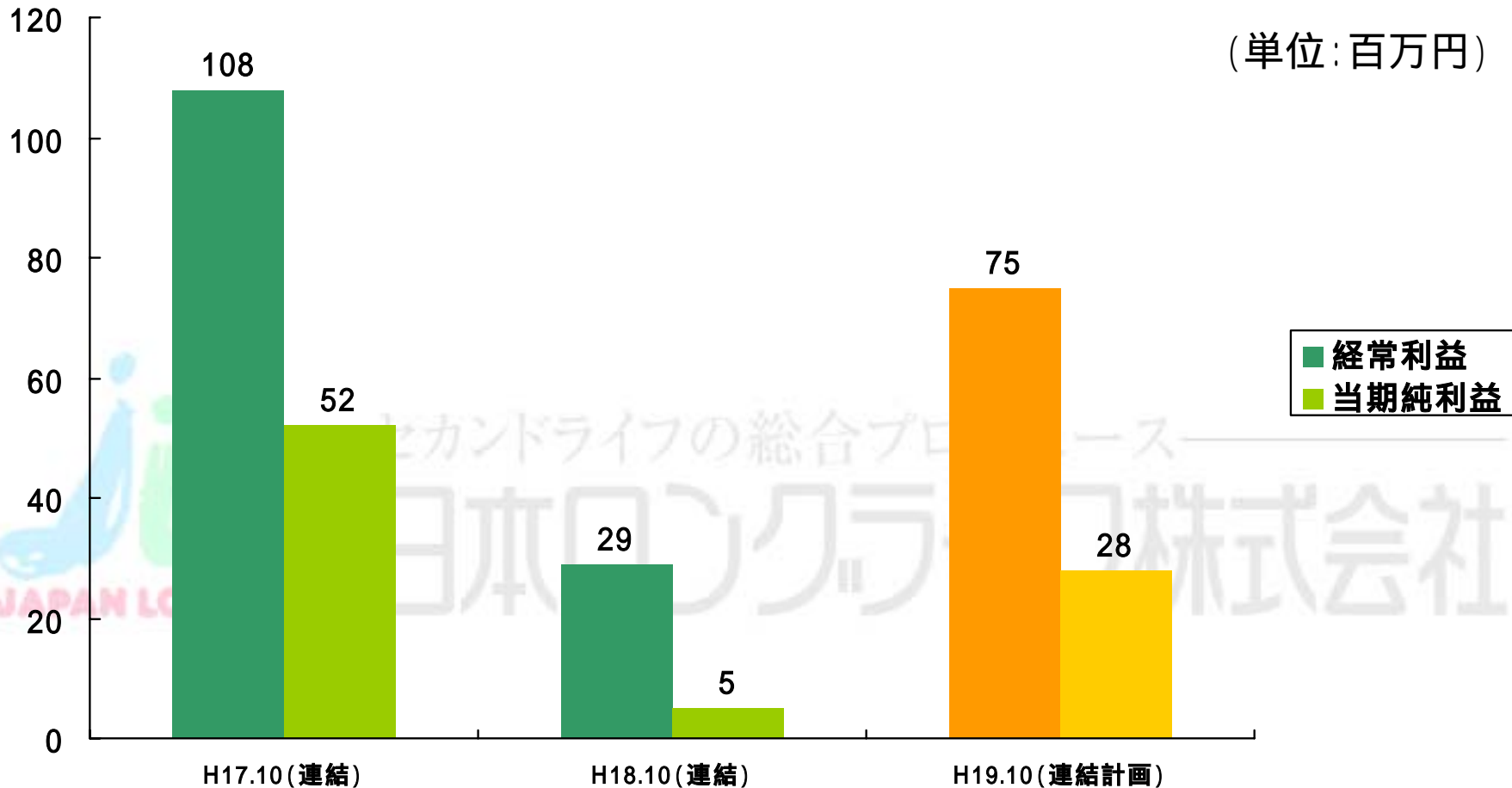
(単位:千円)

	平成17年10月期 (連結)	平成18年10月期 (連結)
売上高	3,442,940	4,022,902
ホーム介護事業	2,466,881	2,897,962
在宅介護事業	842,027	937,040
その他の事業	134,031	187,899
営業利益	145,071	60,180
経常利益	108,167	29,509
当期純利益	52,154	5,630

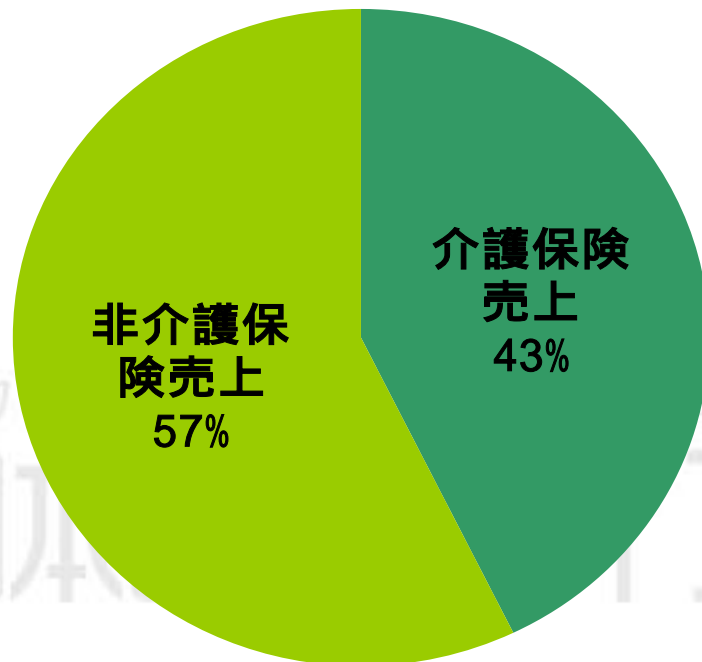
売上高は16.8%増も、他社との競争激化により投資効果は限定的となった



積極的な販売活動を展開した結果ホーム入居率が向上したことに加え、介護専門人材派遣が好調だったことから前年より売上高は堅調に推移しており、今期も2桁増収を予想



ホーム介護事業において、低価格帯の競争激化により、投資効果が限定的なものとなった



平成18年10月期

介護保険に依存しない経営体質。グループ戦略(後述)の展開により、さらに介護保険依存度を低減させていく方針

(単位:百万円)

	平成17年10月期 (連結)	平成18年10月期 (連結)
流動資産	2,518	1,508
固定資産	5,603	6,480
資産合計	8,129	7,992
流動負債	3,022	3,649
固定負債	2,386	1,661
負債合計	5,408	5,310
資本合計	2,720	2,682
負債資本合計	8,129	7,992

有利子負債減少により、前年度よりスリムな経営体制へ

(単位:百万円)

	平成17年10月期 (連結)	平成18年10月期 (連結)
営業活動による キャッシュ・フロー	965	892
投資活動による キャッシュ・フロー	1,340	1,256
財務活動による キャッシュ・フロー	1,449	722
現金及び現金同等物の 期末残高	1,914	827

営業活動によるキャッシュフローに大きな変化なし

平成19年10月期 経営方針

代表取締役社長
遠藤 正一

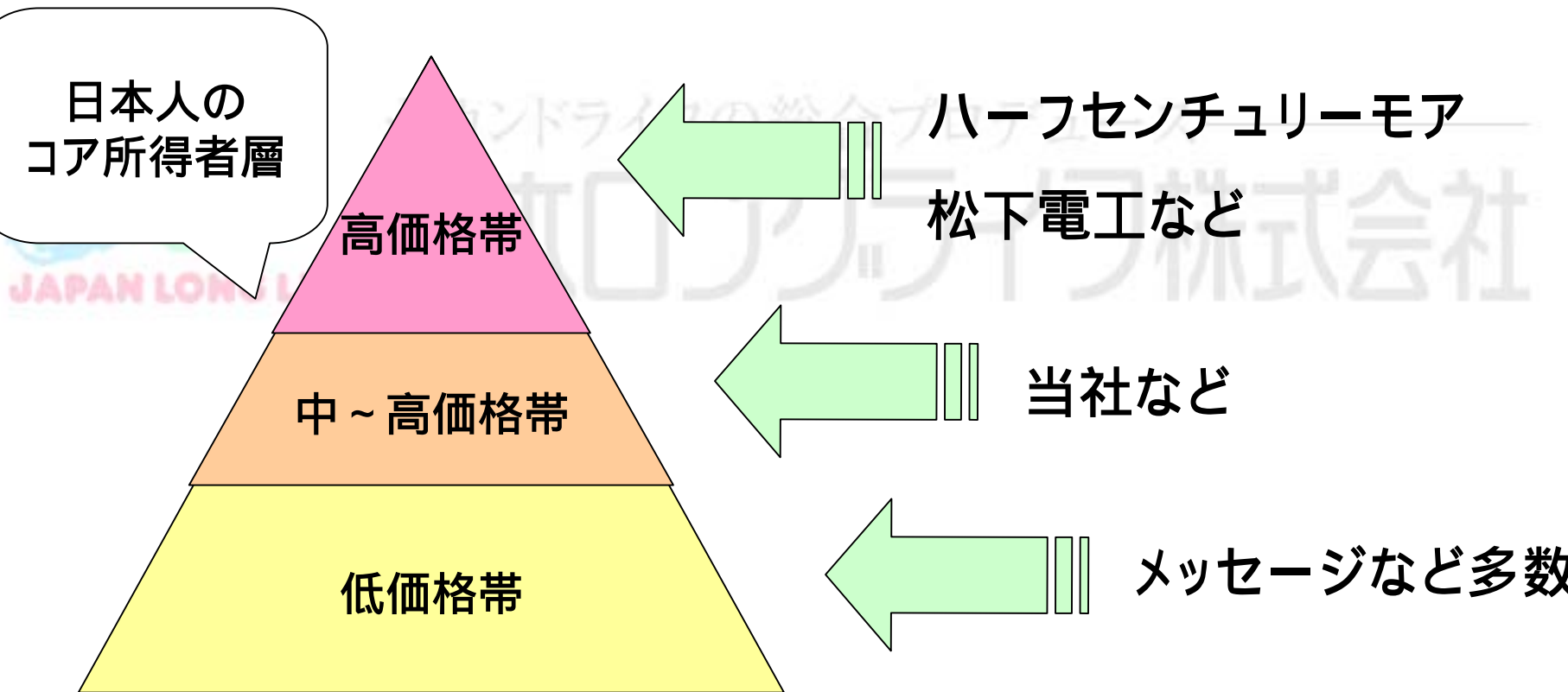


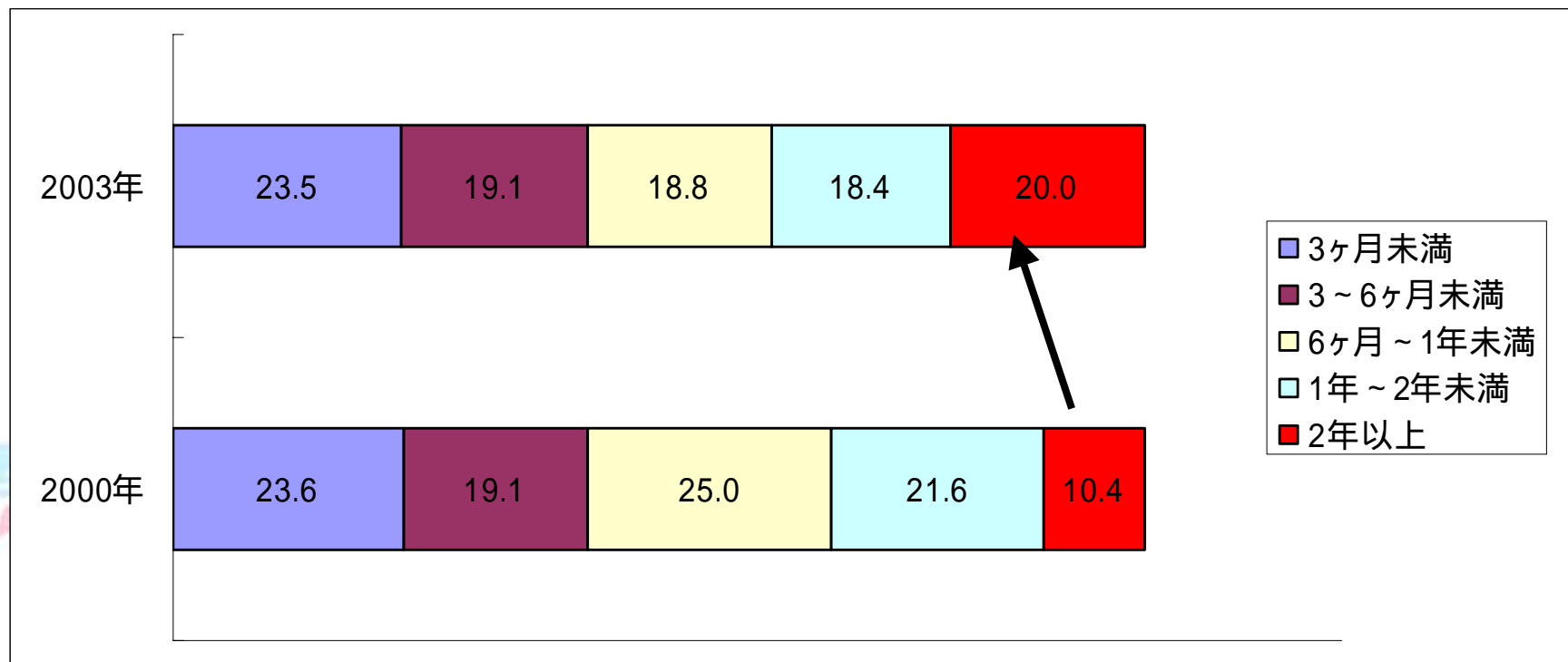
- 高齢者介護市場は依然高い成長を示している
- 既存業者、特に低価格サービス提供企業間の競争が激しくなっている
- 今春、介護保険の制度改正が実施され、各事業者は対応に苦慮している
- 有料老人ホームの新設が抑制されている



日本ロングライフの総合プロデューサー
日本ロングライフ株式会社

- 低価格帯は参入企業が圧倒的に多い

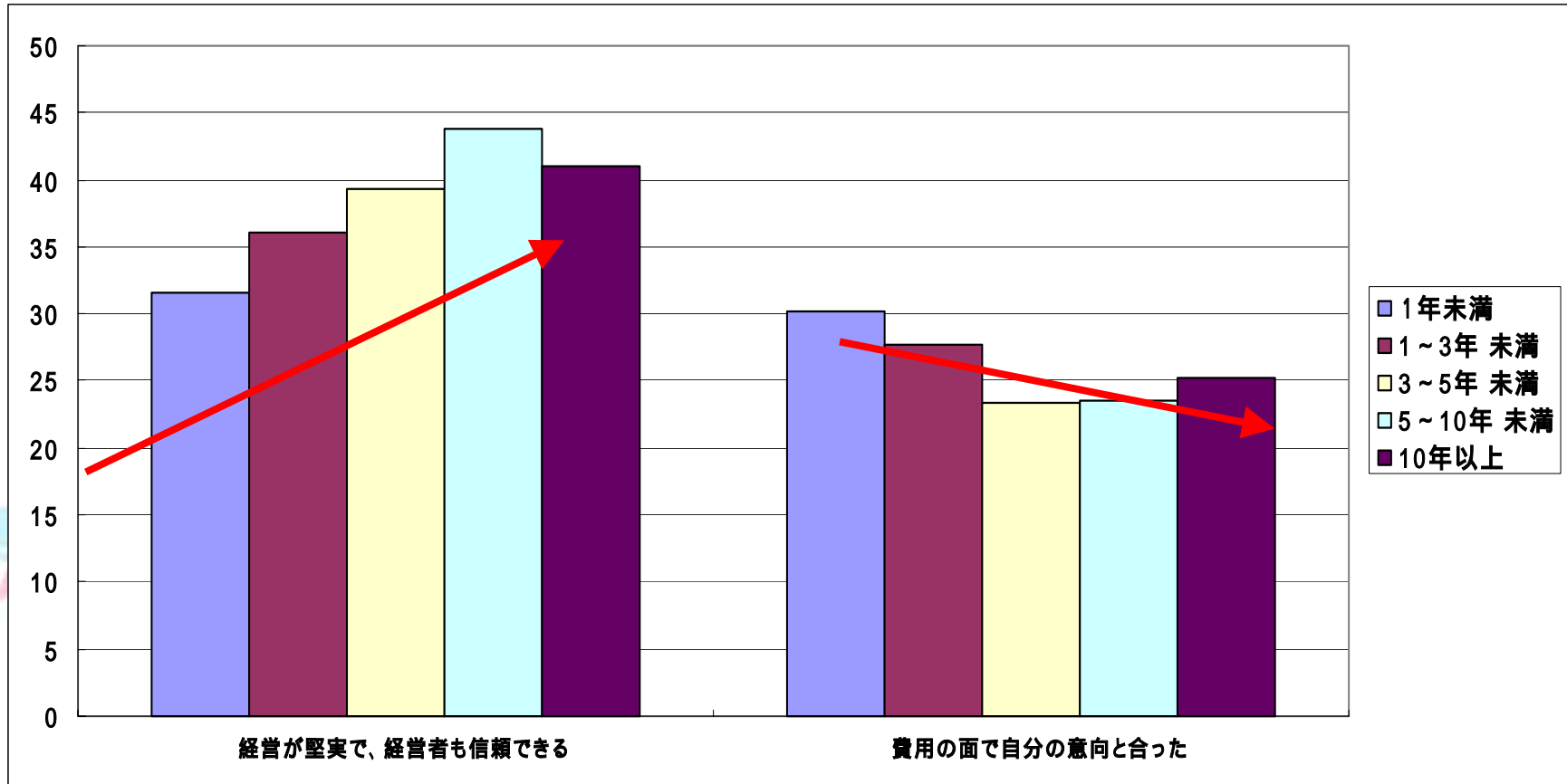




出所:厚生労働省施設調査

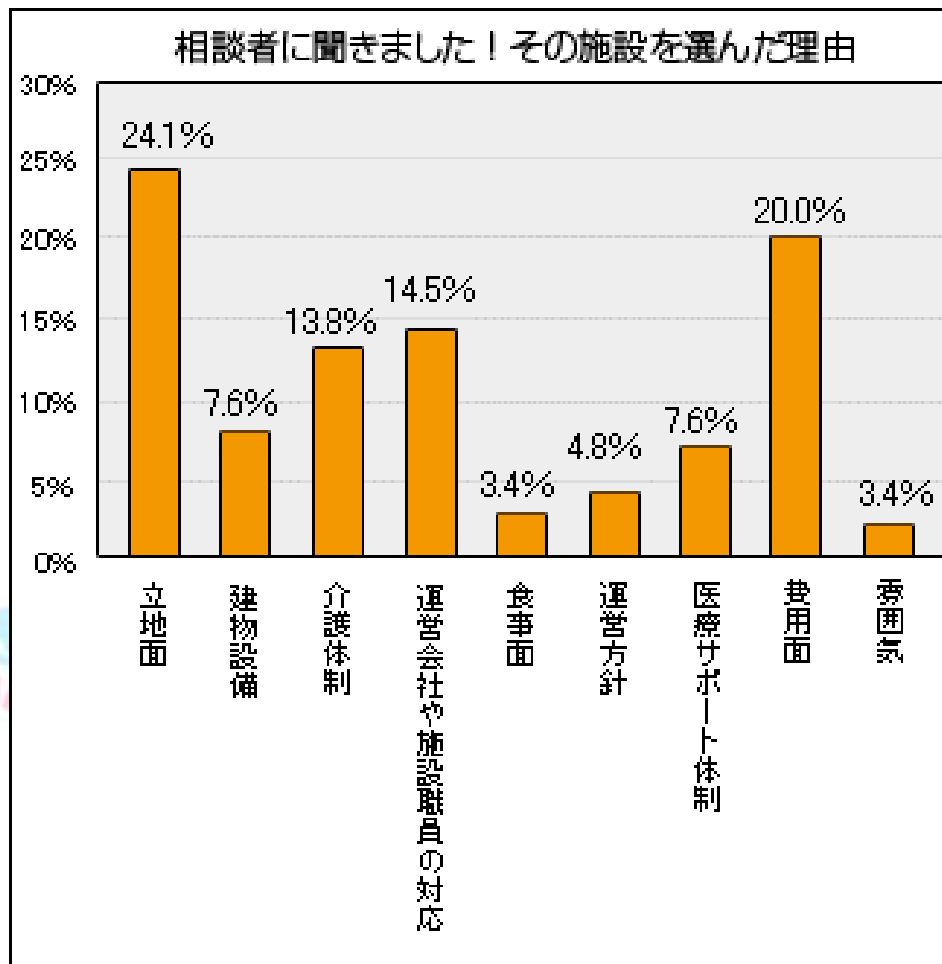
長期入居者が増加している。

(%)



出所:厚生省 平成11年 社会福祉施設等調査の概要

長期滞在者になるほど費用面ではなく、サービス水準の高さを重要視している。



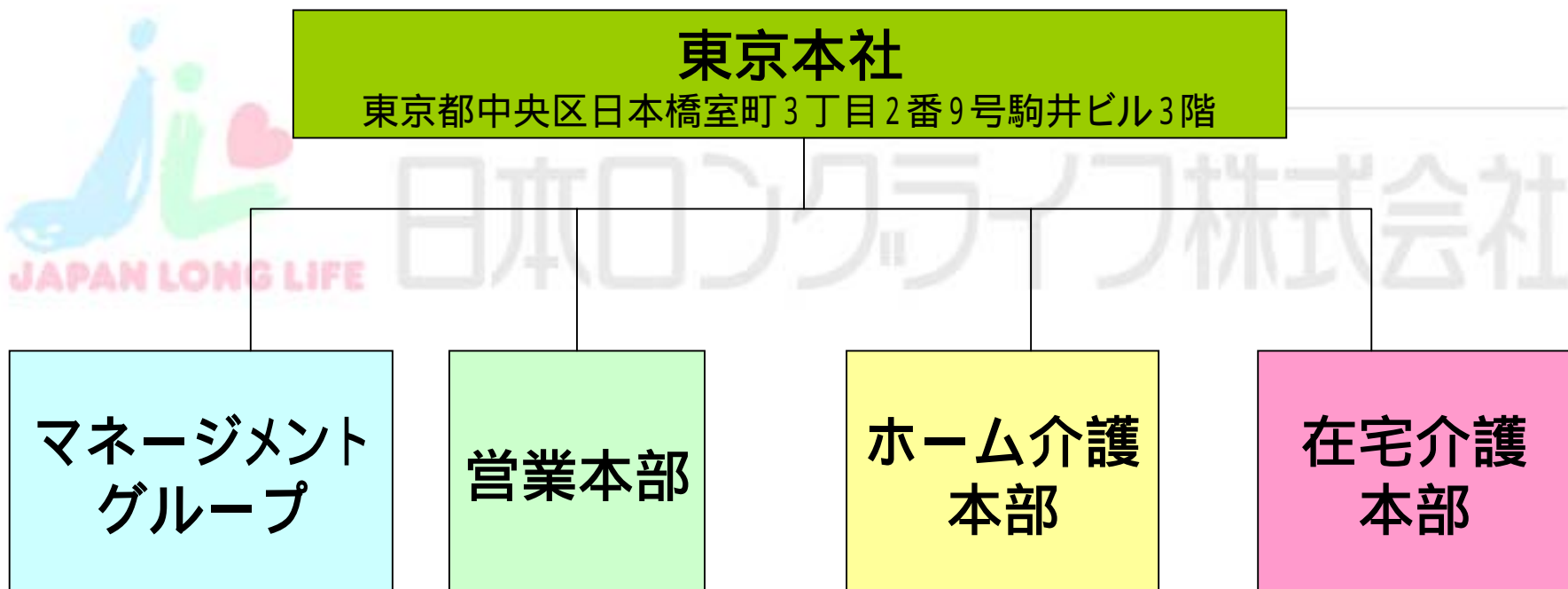
現在、低価格帯の競争激化により、入居前の意見では費用面が重視されるようになっている。

しかし、低価格帯は、中長期的に必ずサービスの低下につながり、早晩その多くが淘汰されることが予想される

- ・介護業界は成長産業である
- ・今後長期入所者が間違いなく増加する
- ・滞在期間が長いと、「費用面」よりも「質の高い」ことが重要となる。
- ・この要望に応えるためには、低価格帯で競争することは長期的にみると不利である。

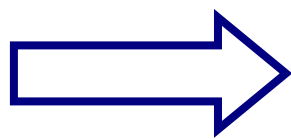
当社は、ロングライフブランドを傷つけるような値下げはしない

- 東京本社を設置し、当社のイメージを関東圏にも位置づけることにより、東京のサービス体制を強化する

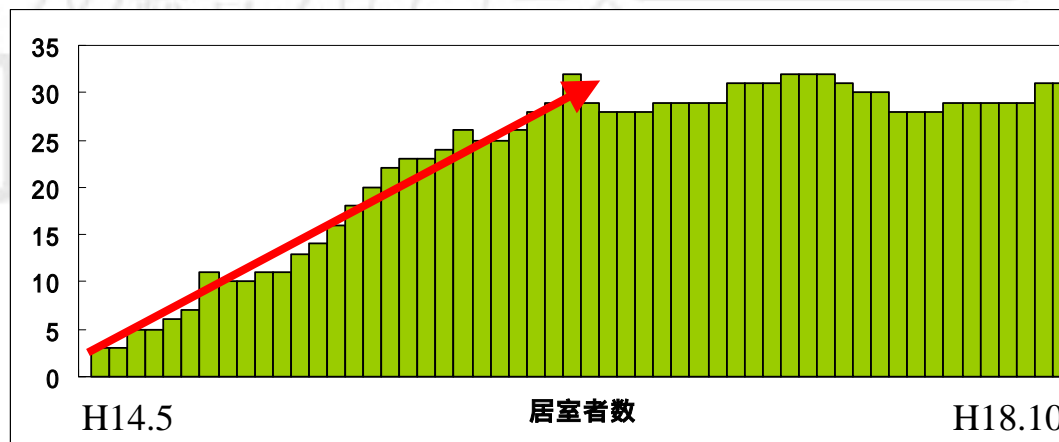


- 施設を介護専用型から混合型(アシステッドリビング・ユニットケア)に変更し、入居者数を増加を図る

現状
の広さ



広さを大きくし、
アクティブシニア
対応の施設に変更



ロングライフうつぼ公園実績

介護専用型から混合型へ変更したことにより、居室者数が増加した実績がある

デイサービスの増設

軽介護を必要とされる高齢者のために、デイサービスを強化する



より良いサービスの維持、「セカンドライフの総合プロデュース」の実現のために、ロングライフブランドによる低価格帯への参入は一切行わない。

新規設立した子会社を含め、グループ戦略を展開することで、アクティブシニア対応ビジネスを強化していく。

今後のグループ戦略について

～セカンドライフの総合プロデュース～

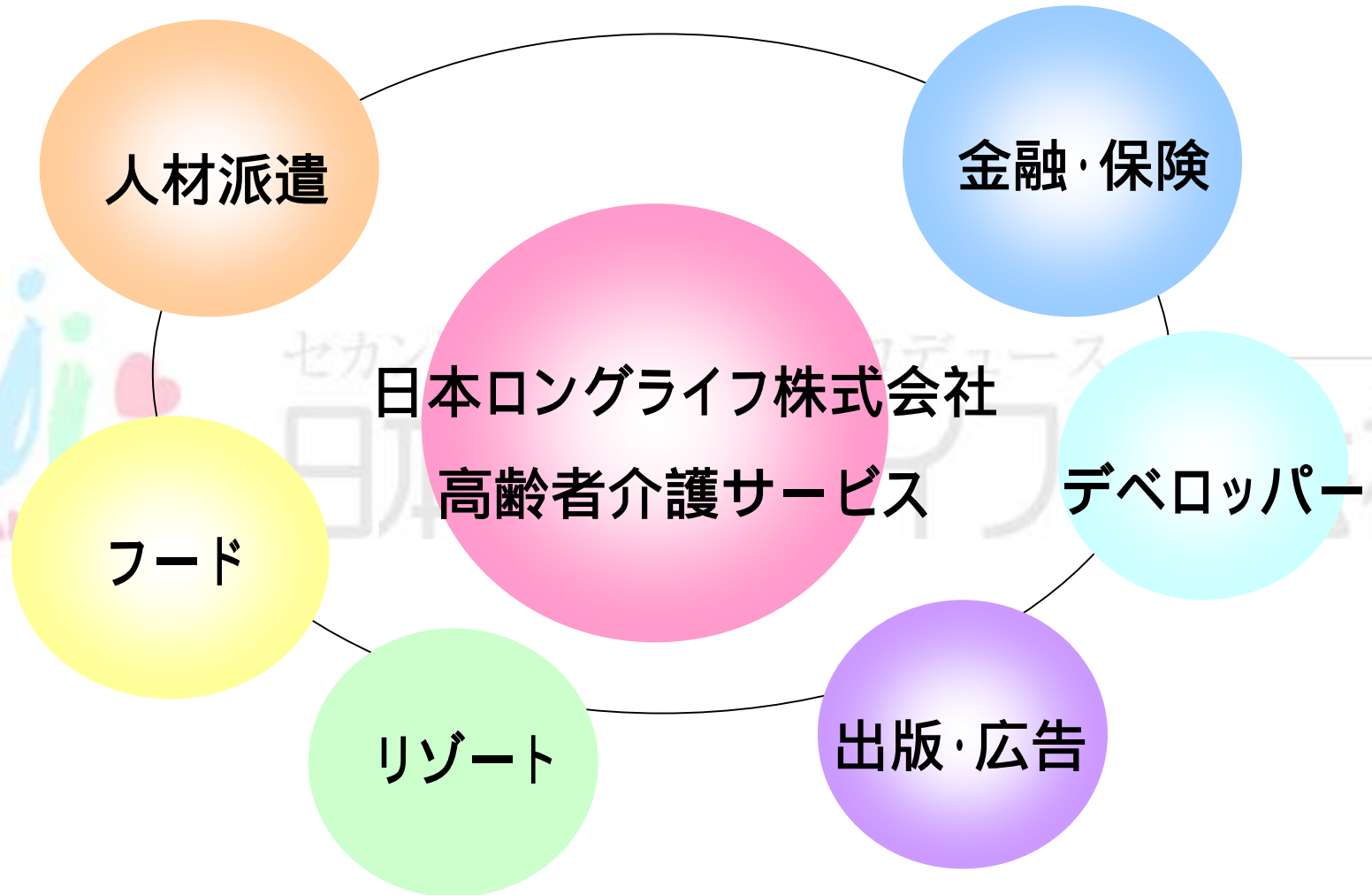


専務取締役

櫻井 ひろみ

セカンドライフの総合プロデュース
日本ロイヤルライフ株式会社

セカンドライフの総合プロデュース



- エルケアサポートの人材派遣業を一層強化する。
- 新たに3社のグループ会社を設立し、今後シナジー効果を図っていく。
- グループ売上成長を2桁で実現し、2010年10月期にグループ売上100億円を計画。

• (7/19)介護各社、人材の確保・育成強化

介護事業各社が人材の確保・育成の強化策に知恵を絞っている。高齢化で介護事業の需要が増える一方、景気回復などで採用競争が激しくなっているためだ。ホームヘルパーや看護師らの人材不足も深刻化しており、待遇や認知度の向上で成長を目指している。

[2006年7月19日/日本経済新聞 朝刊]

仕事の内容や働く場所へのニーズが高まり、介護業界は人材が流動的。

子会社エルケアサポートは、高成長を継続。

すでにグループ業績に大きく寄与しているエルケアサポートに続き、これまでの施設介護で培ったノウハウを活用し、アクティブシニアや介護事業者等にターゲットを絞った層にサービスを提供

ロングライフプランニング(株)

住宅・デベロッパー部門

エルケアサポート(株)

人材派遣分野

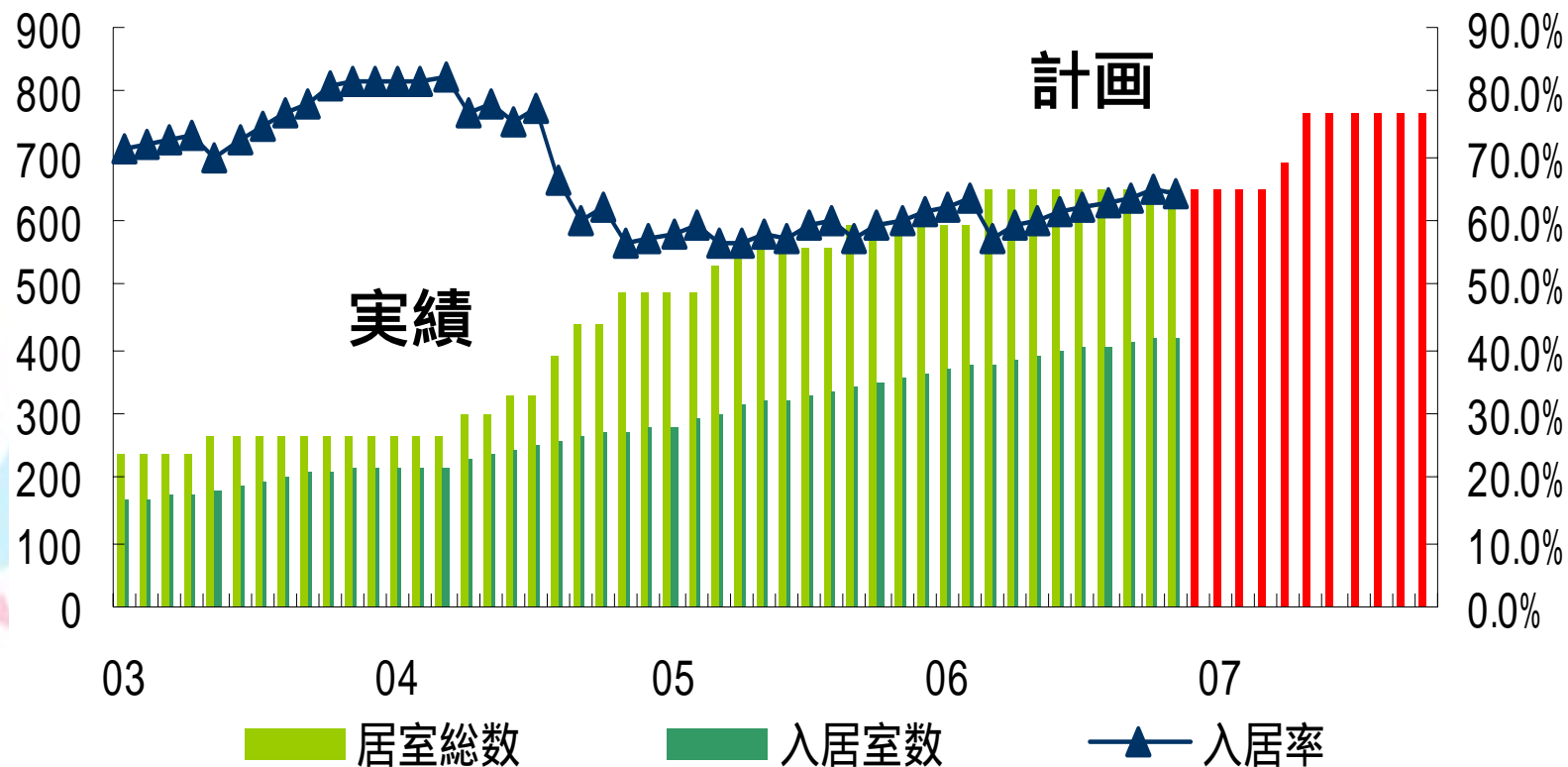
ロングライフエージェンシー(株)

IT・広告・出版分野

ロングライフダイニング(株)

フード分野

新たに3つの子会社を設立

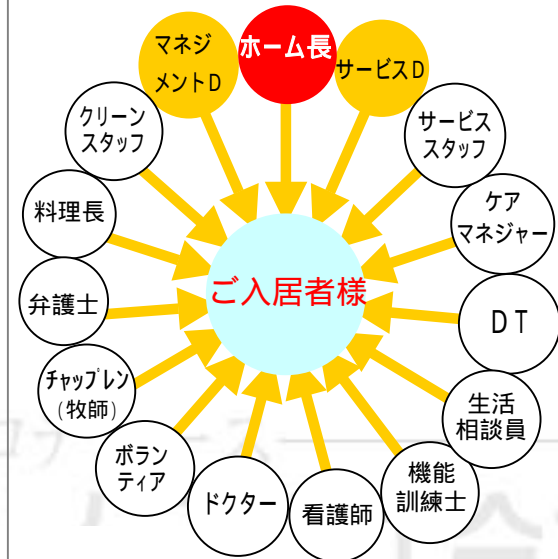


ホーム新設が2件あり、居室総数増加。

更に介護専用型から住居型を取り入れた混合型へ移行することにより、入居率上昇を見込んでいる。

- ダイバージョナルセラピーをもとにした当社独自のサービスを実施
- 一人一人の利用者のにふさわしいプログラムを実施するグッドフィーリングコーディネーター(GFC)を各ホームに1名配置
- チームケアの実践
 - お客様が「こんなことまでしてくれるのか！」と感じていただけるサービスを目指し、「人生はどんどん楽しくなる」と実感していただけるよう、様々なイベントを企画

【ロングライフのチームケア】



サービスディレクター

お客様に直接関わり、お客様にふれ合いながらいき届いたサービスが行われるよう、管理する責任者です。

マネジメントディレクター

お客様に対するサービスがスムーズに行われるように、準備や管理を行う責任者です。

- 新卒社員の初任給を23万円に設定
業界の平均を大きく超える実績値
- 業界の人材定着率の低さについて
資格取得補助、無料保育施設の設置、出産に伴う
離職に関する再就職への対応、スタッフの子女に
対する奨学金の支給等、制度面の充実でこれを克服
- 在日フィリピン人スタッフの積極採用により人材不足
解消。
日本語でのコミュニケーション能力が問われない清
掃(クリーンスタッフ)などの専門業務に従事
ロングライフ学院にて在日フィリピン人コースを設置し、
教育を行うことにより、積極的に採用を行う。



グループ内で教育機関を持ち、柔軟に対応

ケアに対するサービスのあり方を教育することがまずは重要であると考え

高サービスの維持につながる



ロングライフ神戸青谷

居室総数 95 77



ロングライフ梶ヶ谷

居室総数 55 41

介護専用型から住居型を取り入れた混合型へ変更し、入居者数増加を図る。

居室数が減少しても売上等には大きな影響はない。

セカンドライフの総合プロデュース

セカンドライフの総合プロデュース

日本ロングライフ株式会社

ご清聴ありがとうございました

